

明治大学 2019 年度【夏期】 国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修先名	エンデラン大学
所 属	商学部 商学科 1 年

留学先での学習(実習)内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250～300 字程度)

ENDERUN 大学では、Social Club, Chatter Box, Oral communication, Accent Trainin, Field Work, College Sit IN の 6 種類の授業があり、それぞれ現地の先生がおり、常に英語を使っている授業だった。特に Field Work では実際に ENDERUN 大学の中にいる学生や職員に自力でインタビューをするという形式で自分にとってとても刺激になった。Chatter Box では普段から話しそうな内容から普段は話さないような内容まで多岐にわたる話題について現地の先生と会話を繰り返した。Oral communication では、5 人一組になりグループでの授業であった。この授業では、実際の生活の中のあらゆる場面で使えるフレーズを学び、学んだフレーズをグループのメンバーで話し合う中で使っていくというスタイルだった。Social Club では 10 人程で一クラスになっており、主に日常生活で触れるような話題について話し合い、クラス全体で意見や考えを共有した。Accent Training では、マンツーマンで自分のアクセントを矯正してもらった。College Sit In では ENDERUN 大学の学生とともに大学の授業を受け、それに関して自分の意見をまとめたりもした。留学当初は先生の言っていることを聞き取ることも出来なかったが、この 6 種類の授業を通して日々成長した結果、英語での会話が出来るようになった。またこれらの授業の経験を次の英語学習につなげていこうと思う。

課外活動等、授業以外の時間にどのような経験を得ることができたか記載してください。(250～300 字程度)

週末のアクティビティではマニラ大聖堂をはじめとしたあらゆる観光名所を巡ることが出来た。フィリピンの観光名所を巡り、フィリピンとはどのような国なのかということ改めて知ることが出来た。また、アクティビティの移動中にはバスの中からスラム街を目にする機会があり、それらを実際に目にするにより様々なことを考えさせられた。さらに、フィリピンという国は人々の格差が激しいと聞かすが、街の様子からも激しい格差がうかがえる。前述したようにスラム街がある一方でそのすぐそばには新しく、綺麗な外観の建物があつた。フィリピンという国はスラム街と新興地域が一目で見ることが出来るのだと理解した。また、Field Work で知り合った ENDERUN 大学の学生とランチを食べ、交流を深めた。

滞在先・現地での生活に関する経験・感想について記載してください。(250～300 字程度)

フィリピンの人々はとても優しく、気さくな方が多いため滞在中はとてもリラックスして過ごすことが出来た。また、日本ではなかなか目にする事が出来ない食べ物がある。例えば、balut と呼ばれるその食べものは孵化寸前のアヒルの卵を丸ごと使った料理である。その他にもフィリピンには様々な変わった料理があり、決して日本では目にする事がないようなものまである。一方で、日本人でも抵抗なく受け入れやすい食べ物もある。日本と大きく違う点は通信環境である。フィリピンは全体的に通信インフラが十分に整備されていないため、Wi-Fi が無い場所でスマホを使うことが不便に感じた。しかし、寮のコモンエリアや学校には Wi-Fi が完備されているためそこでスマホを使う分には問題なかった。さらに、タクシーを使用する際に、Grab というアプリを使わないと普通より高い値段を要求されることがある。それも文化の違いだと思えば楽しむことが出来る。全体を通して言えることは、フィリピンでの生活に慣れば何も問題ないといえる。

今後の展望・目標について、留学前と後での変化も含め記載してください。(250～300 字程度)

留学前は費用のことを考えて迷っていたが、奨学金があつたので若干負担が減つてこのプログラムに参加しようと思つた。また、将来自分がやりたい仕事と英語が直結するのでこのプログラムに参加した。このプログラムに参加する前から意識していたことだが、このプログラムに参加することが自分が自分の目的ではなく、自分の英会話スキルを向上させることが目的であるということ、英語学習はこのプログラムの間だけではなく、あくまでもこのプログラムは今後の英語学習のモチベーションであるということ、である。しかし、留学中に現地の先生や現地の友達に感謝の気持ちを伝える時などに自分の思っていることを十分に伝えきれなかつたので、今後も英語学習を続けよう、今までよりもさらに英語学習をしようという気持ちになつた。

写真貼付 (1 枚)

※研修先で撮影した写真を 1 枚 (1MB 以内) ご提供ください。撮影場所・写真の説明も記載してください。

2 週目のアクティビティで訪れた Tagaytay にある

フィリピン料理屋の庭からの景色

後ろには火山などが見える。



【注意事項】提出された留学報告書は、次年度以降の短期海外研修の募集および未来サポーター募金事業の広報を目的に、原則として当原稿をそのまま外部に公開いたします (学生番号、性別、生年月日、連絡先は公開しません)。

【写真提供の注意事項】※ご提供いただいた写真は、大学の広報誌やウェブサイト、募集説明会の際利用するパワーポイント等、様々な媒体で広く広報に活用させていただく可能性があります。複数の方が写っている写真をご提供いただく場合には、写真撮影の際にその写真に写る方に本学への写真提供について許可を得ていただいたものをご提供ください。